

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 土木総務課(025-226-3009)

年度	令和4年度		
組織名(部)	土木部	組織名(準部・課・機関名)	土木総務課
組織の目的	市民生活や産業・経済活動の基盤となる道路を常に良好な状態に保ち、災害時等に迅速かつ的確な対応を行うことで安心・安全な市民生活を確保するとともに、防災・救援首都として機能するよう、安心して安全に通行できる道路を目指します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					R4結果	補足・参考指標	目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標				
1	1	メンテナンスサイクルに基づく計画的・効率的な維持管理・更新を行うため、法令に基づく定期点検により道路施設の状態を把握し、これらの維持管理記録を蓄積して、的確な維持管理に取り組みます。	・定期点検の実施 ・健全度評価 ・補修事業の実施 ・これら履歴を管理システムへ反映	定期点検実施数(箇所)	432(単年) 432(累計) 進捗率 10.6%	816箇所 (単年) 1,248箇所 (累計) 進捗率 30.7%	837箇所 (単年) 2,085箇所 (累計) 進捗率 51.2%	1,145箇所 (単年) 3,230箇所 (累計) 進捗率 79.4%	1,139箇所 (単年) 3,224箇所 (累計) 進捗率 79.2%	・法令に基づく道路施設(道路橋、トンネル、門型標識、横断歩道橋、大型カルバート)の定期点検箇所数 ・H26～H30年度に1巡目の定期点検が完了 ・R1～R5年度の2巡目の定期点検計画に基づき約4,100箇所の点検を実施し、修繕計画へ反映 ・橋梁施設集約の方向性について、有識者の意見を聞きながら検討	個所数については、橋梁の全体数が減っているため目標数値より微減となっておりますが、点検計画に基づき、今年度計画している道路施設点検は全て実施しました。 点検結果を維持管理記録として蓄積し、修繕計画に反映するなど、的確な維持管理を実施しました。 今後の方向性として、委員会からは橋梁に関する広報的な取り組みを進めていく必要があるとの意見をいただきました。	達成
2	3	自転車利用環境計画に基づき、走行空間及び駐輪場の整備、放置自転車対策、啓発活動を区と共に推進します。	・自転車走行空間の整備 ・啓発活動の実施	自転車走行空間整備延長(km)	21.4(単年) 126.5(累計)	16.5km (単年) 143.0km (累計)	2.3km (単年) 145.3km (累計)	5.5km (単年) 150.8km (累計)	5.3km (単年) 150.6km (累計)	・新潟市自転車利用環境計画における長期目標整備延長278.7km(うち、R4年度末中間目標整備延長150km)	概ね目標どおり整備を進め、R4年度末の目標整備延長を達成しました。 自転車利用環境計画改訂にあたっては、検討するため基礎データが間に合わなかったため、着手はしたが、改訂までは至りませんでした。	一部未達成
3	4	冬期の着実かつ効率的な道路交通の確保を推進するため、引き続き持続可能な除雪体制の見直し、改善を進めます。	・除雪体制等検証会議開催	実施回数	-	-	3回	提言書のとりまとめ	提言書(最終)をとりまとめ	・除雪体制等検証会議を通して、除雪体制の検証及び見直しを行う(R3年度に3回、R4年度に1回開催予定)。	検証会議の各委員と調整し、提言書の最終とりまとめを行った。また、除雪計画の策定にあたっては、前年度の中間とりまとめを踏まえた計画としました。	達成
			・市民に除雪に関する協力を呼び掛けるため、広報活動を実施		-	-	・パンフレット全戸配布 ・広報チラシ発行 ・新潟市LINEなど	大雪に対する市民広報の実施	拡充して実施	除雪体制検証会議の提言に基づき、R3に実施した広報活動について、継続して実施するもの。	令和3年度実施した内容に加えて、大雪時の指標を設定し、状況に応じた広報に取り組んだほか、HPで公開している除雪状況の対象路線を拡大するなど取組みを実施しました。	達成
4	4	災害発生時に、的確な対策を講じ、被害の軽減を図ることで、市民の安心・安全の確保に努めます。	市職員を対象に以下の訓練を実施 ・出水期における水害対策訓練 ・土砂災害対策訓練 ・地震想定防災訓練 ・降雪期における雪害対応訓練	訓練実施数(回)	4回	4回	4回	4回	3回 (雪害対応訓練は寒波と重なったため中止)	・水害対策訓練(区役所・民間事業者) ・土砂災害対策訓練( " ) ・地震想定防災訓練( " ) ・雪害対応訓練( " )	自然災害発生時の情報連絡等について訓練を実施し、習熟を図りました。 雪害対応訓練は例年12月に実施していますが、今年は、訓練の予定日と寒波が重なったため中止となりました。	一部未達成
5		課内等で説明会形式の研修を実施します。講師・受講者の双方を経験することで、幅広い知識の習得とグループ間での課題の相互理解、説明能力・資料作成能力向上を図ります。	・各グループのそれぞれの業務をテーマとした、職員向け研修会を実施	研修会の開催回数(回)	-	-	-	4回	4回	・R4より目標新設 ・各グループ1回開催 ・説明者・受講者それぞれの立場を経験し、知識の習得と業務スキルの向上を図る	各グループ1回、説明者の立場を経験することで、業務スキルの向上を図りました。 特に橋梁維持関連は、当該研修での資料や説明を基に、新潟大学の学生への業務紹介のプレゼンへの応用を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により中止となりました。	達成

取組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取組みの結果について(評価内容や評価結果を踏まえた今後の方針など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道路施設については、今後もファシリティマネジメントの考え方を取り入れた的確な維持管理に取り組みます。特に、橋梁については、「新潟市橋梁アセットマネジメント検討委員会」での議論を深化させ、より一層効果的・効率的な点検・修繕に取り組んでいきます。</li> <li>○ 更なる自転車利用環境の向上に向けて、自転車走行空間整備延長の延伸に取り組めます。</li> <li>○ 冬期の着実かつ効率的な道路交通の確保を推進するため、除雪体制等検証会議を開催し除雪体制の検証及び見直しを行います。併せて「除雪の効率化・コスト縮減」についても継続的に取組みます。</li> <li>○ 災害発生時に的確な対策を講じることができるよう、引き続き訓練の実施に取り組めます。</li> <li>○ 人材育成については、各グループのそれぞれの業務をテーマとした課内研修を説明会形式で実施し、説明者・受講者それぞれの立場から業務全体の幅広い知識の習得と説明能力・資料作成能力の向上を目指します。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 点検結果や補修履歴を管理システムに蓄積し、修繕計画に反映するなど、ファシリティマネジメントの考え方を取り入れた的確な道路施設の維持管理を行いました。</li> <li>○ 更なる自転車利用環境の向上に向けて自転車走行空間整備延長を延伸しました。今後は自転車利用環境計画改訂に取り組めます。</li> <li>○ 新潟市除雪体制等検証会議の最終とりまとめを行った。今後は、提言の内容に基づき「除雪の効率化」「市民広報の積極的な推進」「PDCAサイクルの構築」を進めます。</li> <li>○ 災害対応訓練については、毎年の継続した取組みとすることで、災害発生時に的確に対策を講じることができるよう引き続き取組めます。</li> <li>○ 人材育成については、各グループの若手職員を中心に各1回、説明会形式でプレゼンを実施し、説明者・受講者それぞれの立場から意見交換を行い、知識の習得と説明能力の向上を図りました。</li> </ul>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 道路計画課(025-226-3034)

年度	令和4年度		
組織名(部)	土木部	組織名(準部・課・機関名)	道路計画課
組織の目的	道路という社会資本を通じ、安全で安心な市民生活を確保するとともに、広域的な地域間の交流・連携を促進し、都心部及び各拠点地区の活性化を図ります。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標	
1	2	都心と広域交通網を結ぶ主要幹線道路「万代鳥ルート線」など直轄国道の整備を国と連携して促進します。	<事業中> ・栗ノ木道路(約1.4km) ・紫竹山道路(約0.7km) ・沼垂道路(約1.6km) ・新潟西道路(約4.2km) ・姥ヶ山、竹尾IC事故対策	・整備促進(要望活動、関連道路整備) ・整備支援(地元調整、用地先行取得)	・整備促進	・整備促進	・整備促進	・整備促進	・整備促進	・整備促進	・国への要望活動および各同盟会活動の実施 ・沼垂道路の新規事業化(R4)に伴う地元調整および、新潟西道路の用地先行取得	・新潟国道事務所と連携し、事業中区間の整備を推進した他、沼垂道路の地元説明会を開催し、事業への理解を深め、地元から意見・要望などを収集した。	達成
2	2	既存の交通基盤を活用し、一般道の渋滞緩和や地域の活性化を図るため、スマートICの利用環境を改善します。	<事業中> ・黒埼スマートIC(上り線) ・新規スマートICの検討 ・豊栄スマートIC利用促進	・黒埼スマートIC整備推進 ・新規スマートIC構想検討	・黒埼アクセス道路(上り線)整備推進 ・豊栄大型車対応・24時間化の促進	・黒埼アクセス道路(上り線)整備推進 ・豊栄大型車対応・24時間化の促進	・黒埼アクセス道路(上り線)整備推進 ・豊栄24時間化の実現	・黒埼アクセス道路(上り線)整備完了 ・豊栄大型車対応の促進	・黒埼アクセス道路(上り線)整備完了 ・豊栄大型車対応の促進			・関係機関と連携し、黒埼スマートICアクセス道路の整備を完了し、令和5年3月25日よりETC搭載車による全車種、24時間化対応を実現した。	達成
3	2	広域的な交流連携を促進し、拠点性の強化や都心及び各地域拠点の活性化に資するとともに、災害に強い道路網の整備を進めるため、新潟中央環状道路をはじめ、各路線の事業推進を図り、早期供用を目指します。 併せて、交通安全の確保や道路環境の向上にも取り組めます。	<主な事業箇所> ・道路事業：新潟中央環状道路(主)白根安田線 小須戸橋 他 ・街路事業：川端町入船線 ・調査計画	・幹線道路網(都市計画道路および駅前広場など)の整備推進 ・計画区間(北区岡方・長浦地区)の安全対策推進	・供用路線道路：6路線 ・供用路線道路：6路線	・供用路線道路：2路線	・供用路線(都計道路：4路線) (駅前広場：1路線) ・対策案の決定	・供用路線(都計道路：4路線) (駅前広場：1路線) ・対策案の決定	<R4供用実績> 【都市計画道路】 ・(主)新潟中央環状線(黒埼工区、明田工区) ・(主)新潟港横越線(平和町) ・(市)葛塚南線 ・(市)曾和新町線 【駅前広場】 ・(市)西3-32号線外(小針駅前)	・当初計画通り、4路線、1駅前広場の供用を開始した。 ・各地区における安全対策案を提示し、地元説明会を開催し、概ねの理解が得られた。	達成		
4		過度な自動車依存から転換し、公共交通、自転車及び徒歩で移動しやすく快適な交通環境等の整備を進めます。	<主な事業箇所> ・小針駅 南口広場整備 ・越後石山駅前広場整備及び自由通路整備 ・巻駅 東口・西口広場整備及び自由通路整備 ・西5-270号線自転車道(電鉄跡地)整備	・駅利用環境の整備推進	・小針駅の整備推進 ・小針駅の整備推進	・小針駅の整備完了 ・越後石山駅の駅前広場の駅舎基本設計着手 ・巻駅の整備方針にかかるとともに、過度な自動車依存から転換し、公共交通、自転車及び徒歩で移動しやすく安全で快適な交通環境等の整備に取り組めます。	・小針駅の整備完了 ・越後石山駅の駅舎基本設計着手 ・巻駅の整備方針にかかるとともに、過度な自動車依存から転換し、公共交通、自転車及び徒歩で移動しやすく安全で快適な交通環境等の整備に取り組めます。	・小針駅の整備完了 ・越後石山駅の駅舎基本設計着手 ・巻駅の整備方針にかかるとともに、過度な自動車依存から転換し、公共交通、自転車及び徒歩で移動しやすく安全で快適な交通環境等の整備に取り組めます。	<R4供用実績> ・小針駅南口広場整備	・小針駅の南口広場が令和5年3月26日より供用した他、越後石山駅では、駅舎の基本設計を5月18日に着手した。また、巻駅の整備方針について、地元との合意形成が図られたことから、JRに対し、基本設計にかかる協力依頼を3月に行った。	達成		
5	4	長期的な視点で、計画的・体系的に人材育成が図れるよう、参加した研修会などの報告会や意見交換会を実施し、政令市職員としての継続的な知識・技術(専門的分野)のほか、プレゼン能力並びに政策立案能力の向上を図ります。	・実務担当者の検討会や研修会等への参加 ・出先機関等を対象とした研修会等の開催 ・各班の懸案事項などに関する課内意見交換会の開催	・研修会等参加回数(延べ人数) ・研修会等開催回数 ・意見交換会開催回数	・65回 ・23回開催	・30回 ・22回開催	・45回 ・17回開催 ・4回開催	・24回 ・18回開催 ・3回開催	・38回 ・22回開催 ・4回開催	・12人×2回参加 ・研修会参加者は、研修内容の報告を徹底することで、知識を共有し課全体での技術力の向上を図る。 ・意見交換会は、若手職員が中心となり、業務の枠に拘らない任意テーマにて、部内各課で連携して議論することを通じ、プレゼン能力等の向上を図る。	・目標を上回る延べ38回の研修会に参加できた。 ・報告会については、新型コロナウイルス感染症への配慮から、研修報告を供覧することで、課内の情報共有を図った。 ・課内から部内へと規模を拡大して、各課1名の若手職員から担当している業務について発表をもらい、聴講者からの意見や講評を通じて、プレゼン能力の向上を図った。	達成	

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>広域的な地域間の交流連携を促進するため、拠点性の強化や都心及び各地域拠点の活性化を図るとともに、災害に強い道路網の整備を推進し、「安心政令市」の確立に向けた都市基盤の機能強化を図ります。</p> <p>具体的には、広域的な交流連携や活性化、防災機能の向上に向け、都心の主要幹線道路となる「万代鳥ルート線」等直轄国道の整備促進、「新潟中央環状道路」や「(主)白根安田線小須戸橋」等の整備を重点的に進めるとともに、過度な自動車依存から転換し、公共交通、自転車及び徒歩で移動しやすく安全で快適な交通環境等の整備に取り組めます。</p> <p>事業実施にあたっては財政見直しを勘案し、国の交付金等の積極的な活用を図るとともに、「選択と集中」をより深く、コスト削減や他事業との連携を図りながら事業効果の早期発現を目指します。</p> <p>さらには、コロナ禍の影響もあるなか、研修会の参加やその研修内容の課内共有を徹底することや、業務の枠に拘らない任意テーマでの意見交換会を部内各課で連携して実施することにより、若手職員の積極的な発言を促し、課および部における専門知識並びにプレゼン能力の向上にも努めます。</p>	<p>広域的な地域間の交流連携を促進するため、拠点性の強化や都心及び各地域拠点の活性化を図るとともに、災害に強い道路網の整備を推進し、「安心政令市」の確立に向けた都市基盤の機能強化を図ります。</p> <p>具体的には、広域的な交流連携や活性化、防災機能の向上に向け、都心の主要幹線道路となる「万代鳥ルート線」の沼垂道路区間の新規事業化に伴う地元説明会の開催等、直轄国道の整備促進をはじめ、「新潟中央環状道路」や「(主)白根安田線小須戸橋」等の主要な道路整備を重点的に進めるとともに、過度な自動車依存から転換し、公共交通、自転車及び徒歩で移動しやすく安全で快適な交通環境等の整備にも取り組みました。</p> <p>事業実施にあたっては財政見直しを勘案し、国の交付金等の積極的な活用を図るとともに、「選択と集中」をより深く、コスト削減や他事業との連携を図りながら事業効果の早期発現に努めました。</p> <p>さらには、研修会の参加やその研修内容の課内共有を徹底することや、若手職員による担当業務に関するテーマの発表について、聴講者からの意見や講評を通じて、若手職員の新たな気づきや経験を重ねた自信を促し、部全体の専門知識並びにプレゼン能力の向上を図りました。</p>

組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) みどりの政策課(025-226-3061)

年度	令和4年度		
組織名(部)	土木部	組織名(準部・課・機関名)	みどりの政策課
組織の目的	将来の緑豊かなまちづくりの指針となる「みどりの基本計画」を踏まえた具体的な取り組みを進め、安全で安心な公園整備、緑地の保全や緑化の推進を図るとともに、市民と協働による緑化活動の推進及び、市民の緑化意識の向上に努めます。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部区組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標							目標達成状況	評価
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果	補足・参考指標		
1	1	公園施設の安全性を確保し、修繕・改築等に係るコストの低減や平準化を図ります。	・公園施設長寿命化計画(第三次計画)に基づく事業の推進	事後保全型施設を追加した計画の策定 予防保全型施設は策定済(H27)	事後保全型施設を追加した管理計画の策定	公園長寿命化計画に基づく維持管理の実施 進捗率 40%	公園長寿命化計画に基づく維持管理の実施 進捗率 58%	公園長寿命化計画に基づく維持管理の実施 進捗率 68%	公園長寿命化計画に基づく維持管理の実施 進捗率 66.4%	・公園施設長寿命化計画(予防保全型施設と事後保全型施設(2ha以上の都市公園)の維持管理計画)における更新計画対象1,148施設の更新進捗率	目標を達成しました。 ・R1計画対象施設を基にした更新予定114施設に対し実績は99施設でした。これに加え、毎年、更新を優先すべき施設が発生しており、今年度は84施設を更新しました。指標進捗率では概ねの達成となり、更新件数では予定数を上回る183施設を更新し、安全な利用環境創出に努めました。	達成
2		市民の憩いと安らぎの場である公園の整備を推進します。	・都市基幹公園等の整備	きらら西公園 白新緑公園 地域拠点公園 他	・きらら西公園部分供用 ・白新緑公園部分供用 ・戸頭公園供用	・きらら西公園部分供用 ・白新緑公園全面供用	・きらら西公園部分供用 ・やすらぎ堤緑地 実施設計完了	・きらら西公園部分供用 ・やすらぎ堤緑地 整備着手	・きらら西公園部分供用開始	・きらら西公園 約23.0haの内、約12.4ha供用済み(R4年度末) ・やすらぎ堤緑地 約1.5ha(右岸:新光町工区 L=800m)のうち、新光町工区に着手・施工(L=160m)	目標を達成しました。 ・きらら西公園では、約1.5haを新たに供用開始 ・やすらぎ堤緑地では新光町工区(L=160m)に着手(国施工の堤防付帯施設工事との調整により一部をR5へ繰り越し)	達成
3	3	公民連携を図りながら、まちなかの緑化推進、公園の利活用の促進に努め、緑あふれる歩きとなる空間を創出します。	・緑のまちなか空間創造事業 ・都市再生緊急整備地域における緑化推進 ・フラワーパートナー事業	各施策の実施 緑化助成制度の創設 参加団体数	・東大通中央分離帯植栽工事着手 ・弁天公園社会実験実施 ・フラワーパートナー事業 12団体参加	・東大通中央分離帯植栽竣工 ・弁天公園社会実験実施 ・緑化助成制度の検討 ・フラワーパートナー事業 20団体参加	・にいがた2kmでの他部署と連携したイベント実施 ・緑化助成制度運用開始 ・フラワーパートナー事業 21団体参加	・にいがた2kmフラワーフェスタの実施(10月) ・制度要綱およびガイドライン作成 ・フラワーパートナー事業 21団体以上	・にいがた2kmフラワーフェスタ設置(R3)、にいがた2kmフラワーフェスタ実施(R4) ・新潟都心民有地緑化支援制度の運用にかかる制度要綱及びガイドライン作成 ・参加企業・団体数21団体(R4新規2団体)	目標を達成しました。 ・各種イベントの開催に併せ、にいがた2kmを花と緑で彩り、緑化への関心を高めるイベント「にいがた2kmフラワーフェスタ」を実施しました。 ・民有地の緑化を支援する補助制度について、緑化審議会での意見交換を踏まえ検討を行い、制度要綱及びガイドラインを作成しました。 ・参加企業総数は21団体となったが、新規2団体の獲得により、全186基のプランターがパートナー団体による管理となりました。	達成	
4		職員の理解・判断力、技術力の向上を図り、人材育成の強化に努めます。	・研修会等への参加(政令市職員との共同調査等) ・研修会等の開催(区職員との意見交換会及び研修報告会等)	研修会等参加回数(延べ人数) 研修会等開催回数	37 7	22 7	21 6	12 6	45 6	・2回/人(職員6名) ・当課業務の枠に拘らない研修会の参加、報告会の実施等により職員の知識・技術力の向上を図る	目標を達成しました。	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>公園施設長寿命化計画に基づく適切な維持管理を実施し、利用者の安全を確保するほか、誰もが安全で安心して利用できるよう公園の利用環境向上に努めます。</p> <p>市民に憩いとやすらぎの場を創出するため、基幹公園等の整備を着実に推進するとともに、新たにやすらぎ堤緑地(新光町工区)の整備に着手します。</p> <p>「にいがた2km」を契機とした「選ばれる都市 新潟市」を目指し、緑と賑わいがあふれるウォーカブルなまちなか空間を創出するべく、都心地域の緑化制度の検討を進め、制度運用を開始します。</p> <p>また、公園の賑わい創出や新たな活用促進、まちなかの緑化を推進する中で、市民との協働による事業実施や、緑の担い手としての民間活力の導入を検討するなど、持続可能なまちづくりの推進に努めます。</p> <p>当課業務に関わる研修等への積極的な参加や、区職員との意見交換・情報共有を行うとともに、所管業務に拘らない他分野の研修への参加等により、職員の知見と能力の向上、人材育成の強化に努めます。</p>	<p>公園施設の計画的・効率的な維持管理では、R1の計画策定時から3年以上が経過したことにより、策定時の更新対象1,148施設以外の更新案件が発生し、計画箇所と併せて対応を進めています。引き続き、公園長寿命化計画の更新と計画に基づく適切な維持管理に努め、誰もが安全で安心して利用できるよう公園の利用環境を確保します。</p> <p>公園整備については、きらら西公園において新たに1.5haを供用しました。引き続き、全面供用に向けて着実に整備を進めます。また、令和4年度から新たにやすらぎ堤緑地(新光町工区)の工事に着手しました。こちらも、早期の完成に向けて取り組みます。</p> <p>都心の緑化推進では、花と緑で彩り、緑化の必要性のPRやウォーカブルな空間形成に寄与する緑化イベント「にいがた2kmフラワーフェスタ」を実施し、併せて、推進施策として、緑化重点地区の指定及び、同地区内における緑化助成制度を創設しました。今後は、制度の運用とともに市民・事業者等に対して広報・制度周知を行い、都心の緑化の機運を高めつつ、引き続き緑化の増進に取り組みます。</p> <p>公園の賑わい創出や市民協働の推進では、低利用緑地における民間主体による試験的活用を行いました。引き続き、民間主体の利活用の拡大に向けた制度研究と利用環境の向上などに努めます。</p> <p>人材育成では、部内研修や関係団体との勉強会・研修会などに積極的に参加し、職員の知見と知識の向上に努めました。引き続き、外部研修や課内での情報共有、関係課との連携強化に努め、職員の理解・判断力の向上を図ります。</p>

# 組織目標管理シート

問合せ先(電話番号) 025-382-4916

年度	令和4年度		
組織名(部)	土木部	組織名(準部・課・機関名)	東部地域土木事務所
組織の目的	社会や経済活動を支える道路整備や橋梁の点検・補修を計画的に実施し、快適で安全な道路を構築します。		

作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標					目標達成状況	評価		
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4結果			補足・参考指標	
1		適正な履行期間の設定や標準化を考慮し、計画的な工事の発注を行います。	・工事の早期発注	上半期工事執行発注率(%)	100	90	83	80	80	・9月末工事執行件数/R4年度工事発注予定(250万円以上)件数	・事業進捗状況の確認会議により問題点や課題を把握し、計画的な発注を進めた。 ・積算誤りが生じないよう集団積算を徹底した。 (16件/20件=80.0%)	達成
2	2	多角連携型の都市構造を支える幹線道路網の整備を推進します。	・新潟中央環状道路の整備	整備率(%) 事業費ベース	-	26	31	36	37	・国道49号から信濃川右岸までの整備率 (城所工区、二本木工区、嘉瀬・割野工区、酒屋町工区)	・定期的に行う事業進捗状況の確認により問題点や課題を把握し、早期に解決しながら工事を進めた。	達成
				整備率(%) 事業費ベース	-	-	-	64	65	・嘉瀬・割野工区のうち、国道403号から市道南9-20号線(両川工業団地)までの整備率	・定期的に行う事業進捗状況の確認により問題点や課題を把握し、早期に解決しながら工事を進めた。	達成
3	1	橋梁長寿命化修繕計画及び耐震・耐荷力補強計画に基づき、老朽化した橋梁の補修や補強を実施します。	・事務所管理橋梁数 555橋について、計画的に点検・設計・補修(補強)工事を実施	点検実施率(%)	-	-	-	84	87	【R1~R5年度末点検二巡目】 ・事務所管理橋梁数555橋に対しての点検完了率 R4点検実施数208橋 (469橋/555橋)	・外業による点検作業を冬季前までに終わらせるなど計画的に進めた。 事務所管理橋梁数555橋→552橋に変更 R4点検実施数208橋→218橋に変更 482橋/552橋=87%	達成
				補修完了整備率(%)	-	-	-	9	10	・点検結果がⅢ(早期措置段階)など、R10年度までに補修を予定している63橋に対しての補修完了率 R4補修完了数6橋 (6橋/63橋)	・定期的に行う事業進捗状況の確認により問題点や課題を把握し、早期に解決しながら工事を進めた。 ・補正予算を積極的に活用し、事業進捗のスピードアップを図った。	達成
4		技術力の向上や人材育成に取組みます。	・専門性の高い内容の伝達や技術の継承にむけた職場内研修の実施 ・若手職員には発表後、補佐主導により研修内容の振り返りを行い、業務への活かし方や計画立案能力の向上をはかります。	研修内容の理解度、知識習得度を5段階で評価	-	-	4.32	4	4.42	・発表者毎に評価シートにより評価。 ・全発表者が4以上の取得を目標とする。(実績値は全発表者の平均値) ・発表者は精度の高い研修を実施し4以上を目指すとともに、受講者は精度の高い研修により知識の向上を図る。	・専門性の高い発表により技術力の向上が図られた。(発表者8人) ・若手職員(副主査以下4人)へのフォローアップを実施した。(所長補佐実施)	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<ul style="list-style-type: none"> <li>各事業における整備率の向上や投資効果を早期に発現させるには、工事の履行期限の標準化などを考慮した計画的な発注が必要となることから、関係機関との協議や問題点の解決を早期に行い、上半期内での発注を進めます。</li> <li>市域に放射状に広がる都心アクセス軸を環状に結び、交流連携、渋滞緩和や災害に強い道路網の整備を図るため「新潟中央環状道路」の整備を推進します。また、新たな2つの両川工業団地(令和4年10月までに工事完了予定)と隣接する嘉瀬・割野工区の一部区間について、令和7年度末の供用を目標に整備を進めます。</li> <li>計画的かつ効率的な維持管理の実践に向けて策定した「新潟市橋梁長寿命化計画」に基づき、橋梁の長寿命化や更新時期の標準化などを進め、道路ネットワークの安全性や信頼性の確保に取り組めます。</li> <li>業務を継続していくためには専門性の高い技術の共有や継承が必須であるため、技術研修会等で習得した内容や業務で培った技術を学ぶための研修会を実施します。また、将来を担う若手職員の育成に向け、若手職員の講師の起用を積極的に行い、発表後には補佐主導で研修内容の振り返りを行い、業務への活かし方や計画立案、プレゼンテーション能力の向上を図ります。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>【工事の早期発注】 引き続き事業進捗状況確認の会議の実施により問題点や課題を把握し、計画的な発注に取り組めます。また、積算誤りを防止するための積算図書や設計図面の事前審査等を強化します。</li> <li>【中央環状線の整備や橋梁補修工事】 引き続き事業進捗状況確認の会議の実施により問題点や課題を把握し、これらを早期に解決するとともに、懸案事項や用地交渉状況等の情報を共有しながら事業を進めます。</li> <li>【橋梁点検】 点検業務は安心で安全な道路ネットワークの確保に向けた重要な業務であるため、引き続きスケジュール感を持ち計画的に進め年度内での確実な履行と点検精度の向上を図ります。</li> <li>【研修会】 理解度や知識の向上を目的とした専門性の高い内容として開催する一方、若手職員の発表時には意識的に多くの質問を行うなど育成を意識して進めました。今後も、専門知識やプレゼンテーション能力、若手の育成の向上に向けた研修を行います。</li> </ul>

組織目標管理シート

年度	令和4年度		
組織名(部)	土木部	組織名(準部・課・機関名)	西部地域土木事務所
組織の目的	社会・経済活動を支える道路整備や、橋梁や法面災害危険箇所の補修・補強を計画的に実施し、快適で安全な道路空間を構築します。また市民の憩いの場となる公園整備に努めます。		

問合せ先(電話番号)	0256-78-8574
作成日	令和4年4月1日
修正日	
評価日	令和5年3月31日

No.	部 区 組織目標	組織目標	主な取組(事業)	指標						目標達成状況	評価	
				項目(単位)	R1実績	R2実績	R3実績	R4目標	R4結果			補足・参考指標
1		計画的な発注と適切な工期設定に努め、品確法で求められる、発注者の責務を果たしていきます。	・工事の早期発注	上半期工事発注率(%)	95	80	90	80	81	・発注率80%以上(件数) ※250万円以上の工事が対象	・目標を達成しました。 (29件/36件)	達成
2	2	多核連携型の都市構造を支える幹線道路網の整備を推進します。	新潟中央環状道路の整備促進	整備率(%) 事業費ベース	71	85	96	100	100	・国道8号から国道116号区間の整備率(令和5年春の供用開始目標)	・目標を達成しました。 綿密な事業進捗管理により、計画通り供用開始した。	達成
3	1	市民の暮らしと経済をささえる、道路ストック「橋梁・道路法面」などの維持・補修に努めます。	・橋梁長寿命化修繕計画及び耐震・耐荷力補強計画による、優先度を見極めた老朽化橋梁の補修・補強の実施	補修実施橋梁累計数 上段:累計数(実施率%) 下段:年度実施数	12(18%) 5	16(25%) 4	26(40%) 10	30(41%) 4	30(41%) 4	・法定点検で「性能の低下が著しく、早期の劣化進行が危惧される状態(C3)」と判定された66橋対象(令和6年度完了目標)R4:3橋完了 ・POB処分対象橋りょう6橋 R4:1橋分処分。 ※点検により対象数・目標年度の更新をした場合、実施率が変化します。	・目標を達成しました。 定期的な事業進捗状況の確認により、課題等に対して早期に解決を図りながら事業を推進しました。	達成
			・法面対策事業計画に基づく、山岳道路の法面災害危険箇所の対策実施	対策実施箇所累計数 上段:累計数(実施率%) 下段:年度実施数	58(59%) 3	66(67%) 8	68(69%) 2	72(73%) 4	72(73%) 4	・法面災害危険箇所:98箇所対象(令和9年度完了目標) ※点検により対象数・目標年度の更新をした場合、実施率が変化します。	・目標を達成しました。 定期的な事業進捗状況の確認により、課題等に対して早期に解決を図りながら事業を推進しました。	達成
4		技術力の向上や人材育成に取り組めます。併せて業務に対する誇りの醸成を図り、組織力の向上を目指します。	・職場内研修の実施 ・業務・技術検討会の実施	評価点4.0点以上の割合 50%以上(評価点4.0の研修参加人数延べ人数の割合)	-	-	-	4.0 (50%以上)	4.0 (90%)	・当課の業務に拘らない研修会に参加し報告会を開催するとともに、所属職員が講師となり、勉強会・検討会などを開催します。 ・受講者アンケートを実施し、研修内容や満足度を評価します。(5点満点)	・目標を達成しました。 所属全体で意欲的に取り組んだことで目標を達成することができた。	達成
			・情報発信・事業PRの実施	効果的・戦略的な情報発信、PRの実施	-	内容・対象 手法・体制 などの検討、研究を行い、事業の情報発信やPRを実施した。	継続的な情報発信や事業PRの実施。	継続的な情報発信や事業PRの実施。	継続的な情報発信や事業PRの実施。	・各事業の周知や理解を高め、自らも自信を深めるために、目的や詳細の情報発信・PRに取り組む	職場内に効果的・戦略的な情報発信やPRを目的とした委員会を設置し、橋りょう維持修繕等に係る市民理解を深めるため、クロスバールにおいてポスター展示によるPRを行った。また、新潟中央環状道路(R8～R116間)の供用開始イベントを関係課連携の下、「くろさき茶豆大橋」を会場に開催し、事業PRはもとより建設業PRを行った。(約400人参加)	達成

取り組みについて(今年度重点的に取り組む内容や目標設定の考え方など)	取り組みの結果について(評価内容と評価結果を踏まえた今後の方針など)
<p>市域に放射状に広がる都心アクセス軸を環状に結び、交流連携を強化する「新潟中央環状道路」の整備推進に努めます。特に国道8号から116号までの区間は、予定している令和5年春の供用開始に向け、着実に整備を進めていきます。</p> <p>高度経済成長期に一并に整備され、現在、老朽化が深刻となっている橋梁について、策定された「橋梁長寿命化修繕計画」や「耐震・耐荷力補強計画」に基づき、計画的に補修・補強工事を行います。また、本市が管理する国道402号など、山岳道路における法面災害危険箇所の補修・補強工事を実施し、道路ストック効果の最大化に寄与していきます。限られた財源の中で、最大限の効果が発現されるよう取り組みを進めていきます。</p> <p>発注にあたっては、計画的な発注と適切な工期の設定による「工量量の平準化」を目的に早期発注に努め、公共工事の品質確保の促進に関する法律に定める発注者の責務を果たしていきます。</p> <p>土木職の事業を担う部署として、事業の情報発信やPRを実施していきます。また、職務に必要な不可欠なスキルである技術力の向上を目的に、知識・経験の共有や継承に努め、本市の安心・安全なまちづくりの土台となる、社会資本整備を担う職員として、業務に対する誇りの醸成、人材育成に取り組むことにより組織力の強化を図っていきます。</p>	<p>新潟中央環状道路の整備について、令和5年3月25日を供用開始日と定める中、綿密な事業進捗管理により計画通り供用開始することができた。</p> <p>老朽化が進む橋梁及び山岳道路における法面災害防止のために、劣化箇所や危険が予測される箇所の補修・補強工事を行いました。引き続き、限られた財源の中で最大限の効果が発現されるよう取り組みを進めます。</p> <p>土木職の事業を担う部署として、市民との共通認識の共有を目的に、橋りょう維持修繕等に係る事業発信やPRを実施しました。市民意見を踏まえ引き続き取り組みを進めます。</p> <p>また、今後も組織として職務に必要な不可欠な技術力の向上、知識・経験の共有・継承に努めるとともに、業務に対する誇りの醸成、人材育成に取り組むことにより組織能力向上を図っていきます。</p>